

各地区業況アンケート結果（2019年10月調査分）

（2019年10月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

10月22日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ82名の回答があり（回答率55.0%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上前年割れ36%

問1】貴社の9月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	10	11	31	14	15	81	72
比率	12%	14%	38%	17%	19%	DI-16	DI-108
売上金額/前年同月比	12	12	28	16	14	82	73
比率	15%	15%	34%	19%	17%	DI-10	DI-92

2. 黒字5割

問2】貴社の9月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	18	23	23	12	5	81	72
比率	22%	28%	28%	15%	7%	DI+46	DI-19

3. 全向け先でやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て10月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		9	32	16		57	-12	-2
民間建設向	1	8	33	19	5	66	-29	+2
自動車向		6	27	10	2	45	-18	-3
その他需要家向		8	39	21	2	70	-24	-15
仲間取引		7	35	19	5	66	-33	-25
計	1	38	166	85	14	304	-24	-9
比率	0%	12%	55%	28%	5%			

4. 先行き不透明感募る

問4】貴社における向う11月から1月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	0	19	41	15	5	80	73
比率	0%	24%	51%	19%	6%	DI -8	DI +17

5. 過剰気味傾向変わらず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	品種別	A	B	C	D	E		10月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
3	0	0	19	11	0	0	6	0	-7	-14	-28	-31	鉄筋用丸鋼			22	8		30	-27
6	15	7	0	0	-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	構造用丸鋼			22	6	1	29	-28
-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	平角鋼			30	2	1	33	-12
3	18	41	41	36	15	11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	H形鋼		1	26	7		34	-18
81	100	125	89	120	85	57	25	12	4	-11	-15	-26	コラム			24	3		27	-11
-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	小形山形鋼			32	6		38	-16
-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	中形山形鋼		1	29	9		39	-21
-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	溝形鋼			27	11		38	-29
-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	軽量形鋼C形			23	10		33	-30
0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	軽量形鋼広巾			16	3		19	-16
7	12	8	12	0	-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	冷延薄板			15	14	1	30	-53
-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	熱延薄板			15	16	1	32	-56
6	3	0	8	0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	表面処理鋼板			14	17	1	32	-59
-3	-10	20	34	16	3	0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	酸洗鋼板			17	16	1	34	-53
7	7	20	20	18	7	0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	中板			21	19	1	41	-51
31	41	49	45	36	15	17	0	-10	-29	-50	-38	-45	厚板			22	14	3	39	-51
25	13	33	19	6	19	5	0	-13	-12	-32	-25	-20	極厚板			13	5		18	-28
-3	-7	0	6	-6	6	0	0	0	-14	-19	-13	-29	縞板			23	6	1	30	-27
2	3	16	3	0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	中径角			29	10	1	40	-30
-5	0	3	8	13	2	2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	ガス管黒			35	4	1	40	-15
-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	構造用鋼管			33	4	1	38	-16
5	5	14	14	10	2	1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	計	0	2	488	190	14	694	-31

6. 秋需の盛り上がりなく市況も弱含み

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	9月、10月の出荷は順調だが、東鉄の値下げの影響が出始めている。北海道の市況は今まで高止まりしてきたため冬場の閑散期に向け、一気に下がらないか不安が残る。
	B	一般形鋼、H形鋼の9月在庫販売数量は、今年最盛期と思われる。しかしながら、スクラップ安、東鉄値下げと本州市況に引っ張られ再販価格は全体的に弱含みとなっている。これからの北海道は冬場の不需要期や現状の在庫量を考えると少しでも踏ん張りたい。
東北	A	多少なりとも仕事はあるが、価格は下落。復興需要も終盤、厳しい状況が続くだろう。
	B	スクラップ価格下落により様子見となり、価格がなかなか決まらない。
	C	新規物件は少なく、価格は下落傾向。
	D	特に大きな物件もなく低迷。先行き不透明だが、来年に期待している。
新潟	A	県内における台風19号の被害は少ないものの、県外における復興需要はどうなるのか。県内相場は弱含みだが、相場の維持に努めたい。
	B	10月に入り、取り扱い全鋼種で荷動きが停滞している。とにかく悪い。
	C	相変わらず需要がない。一時的な現象であると考えているが、月を追うごとに不安になる。高炉と電炉の価格差があり、今後メーカーの価格動向に注目。スクラップ価格動向も注視している。
	D	暖房機などの季節需要は増加傾向だが盛上りに欠いている。産業機械は輸出減少の影響で低調。レジ、金融関係は堅調。自動車は稼働日連動増も低調。鉄骨需要も端境期となっている。価格は品種によりバラツキがあるが、値上げムードは弱い。
	E	8月、9月の業況が悪いのは稼働日数のせいにはできたが、10月以降はそんなわけにはいかない。前月に比べると若干動きがでてきた気もするが、景気の雰囲気が悪い。前月に比べると若干動きが出てきた気もするが、景気の雰囲気は悪い。
	F	10月に入ったが、まだ需要が大きくなる気配を感じられない。東鉄値下げで、先行きまで下げの声がボディブローの様に出てくる可能性がある。今が踏ん張りどころである。
	G	新規見積もり案件も少なく、価格も弱含みである。
神奈川	A	市況は引き続き低調であり、スクラップ環境も軟調である。続落気配で先行き見えず不安である。
	B	公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。工作機械向けの受注も頂いているが、3ヶ月先の引合い分が少ない状況。
東京	A	秋需を期待しているが兆しが見えてこない。それに比例して輸入材(中国)の弱気が伺える。建機業界の本格減産が始まりムードなし。長いトンネルに入ってしまったのか。
	B	9月は台風の影響で物流が一時ストップしてしまった。全体的な影響はなかった。産機、建機は好調なため、売上金額は増加。10月以降も引き続き好調を維持できる見込みだが、今後、今回の台風19号の影響がどうなるか見極めが必要となってくる。
	C	(鋼管) やや減少。
	D	とても好調とは言えない状況。しばらく横ばいの状態が続くのではないかと。

東京	E	前年が好調だったせいもあり、9月としては大きな落ちこみとなった。8月から弱かった市況は更に弱基調となっている。
	F	特殊鋼メーカーの一部を除いて納期改善傾向。市中在庫も増加傾向である。荷動き、市況ともに先行き不透明である。
静岡	A	薄板の市中在庫は依然として多い。需要の盛り上がりがないため我慢できず、安値販売が横行し、ずるずる販価は下がっている。
	B	鉄骨案件がちらほら見受けられるが続かない。受注の山谷が本当に激しい。
	C	二次加工請負流通加工工業大手の山積みの高さは変わっていないと聞いているが、進捗状況は芳しくない様子である。第3四半期に集中するのか。商社、大手流通取扱物件、加工先の手先ファブに対するゼネコンの消化スケジュールはいかがなものか。盛り上がり感が全くない。台風19号の未曾有の災害による業界全体への影響が懸念される。受注を頂き荷揃えも済んでのに納入日が未決定の物件が続いている。現在のところ、鉄鋼関連の興信情報は、概ね良好であると診断されている。
石川	A	9月は増税前の駆け込み需要が多少見られたが、今はまた落ち着いてしまった。日中の電話の本数も減少しており、重苦しい雰囲気は常に漂っている。日本で災害が品パイに発生するなかラグビーワールドカップでは日本代表の活躍でたくさん元気をもらっているが、目標だけでなく、明確な目的をもって1つになった組織や集団がいかに強いのか、今回、改めて思い知らされた気がする。
	B	工作機械業界のペースダウンはかなり響いてきたが、その他の100～8000億円の中分類から小分類のモノ造り業界も少しずつペースダウン状態が感じられる。中小企業は国外にあまり関係が少ないので頼りになる。国際的な比較では、日本のモノづくりの効率は悪いとされているが、きめ細かく丁寧に故障も少ない機器を造っているため表面的にはメンテを含めて効率がよくない統計になるかもしれない。
富山		工場、商業施設、マンション等は仕上げ段階、農業等1次産業向けが好調。輸出向けは2～3割減のままである。
愛知	A	(集購)全体に数量は底堅く、堅調に推移している。しかしながら、コストアップの吸収が困難。(プロパー)車種により、数量のバラツキがあり、厳しい状況が続く。自動車素材の変化(アルミ化、樹脂化)が加速。家具、陳列など一部備蓄の話は聞こえてくるが、受注時期は未定。秋需に期待したい。働き方改革により、短納期小ロット受注に対応しなくてはならないが、稼働日が少ない分、生産性低下、残業代などコストアップが膨らみバランスの悪い状態が続いている。
	B	低迷ムードが続いている。今まで支えてくれていた自動車関係の先行きが心配である。この状態が続けば信用問題が増えてくる。今は我慢の時である。
三重		とある情報誌に、とあるメーカーが、とある会社に、6万7千円以下のH形鋼を販売したと出た。嘘ではないだろうが、エンドユーザーも読む情報誌にそんなことを書いてよいものか?これでまた相場が下がり、鉄鋼業界全体の首を絞めることになるだろう。売れるためには好き勝手をやる通信社と反日マスコミ新聞の不買運動をしたくなる。
岐阜	A	9月度は10月からの消費税増税で増税前の伝票処理もあり、売上は前月比より上がったが、逆に10月からは仕事も薄くなり、先行きが不安になる。産業機械関連や輸出関連などは貿易問題による落ち込みが懸念される。下半期においては与信管理をしっかりとしていく必要がある。

岐阜	B	建築系、金物系は忙しい。機械系は暇で、中には激減しているユーザーもある。しかし、人の問題で、身は多忙。競争を避けて加工や切断を受けるも能力不足、運送費の値上りが再び加速しているような気がする。スクラップに対して条鋼は高い単価レベルなのだろうか。
大阪		10月11月は季節なりの荷動きはあるが、昨年ほどではない。スクラップは弱含み、景況感は悪い。暫くこの様な厳しい状況が続くものと思われる。
岡山		パイプ、フランジがいつもよりよく出ている。プラント設備更新向けかもしれない。
香川		H形鋼の在庫に過剰感はないが、在庫が悪い。特に鉄骨中小案件が少なくボルト問題が長引いている。土木関連も秋需に期待していたが、思ったよりも動きが鈍い。
福岡		福岡都心部の再開発などでここ数年内での建築需要は見えているが、直近での問屋への引合いは中小規模の建築案件が主流。消費増税の影響か、設備投資なども停滞感がある。鉄スクラップ相場は米中日韓問題に巻き込まれて弱く、鋼材相場にも連動して値下げ感があるため、細かい価格設定が必要と感じている。
北九州	A	非常に悪い。
	B	大型案件は先々あるも足元の中小物件が少ない。昨年に比べて状況は良くない。また、電炉メーカーの主原料であるスクラップの底が見えておらず、先安感があり、流通としては様子見状態である。